



このたびは、シリアル通信ユニットをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本機はリモートマイク形シリアル通信ユニットSTU-R200 (以下、リモートマイク) と組み
合わせて使用する、省線式リモートマイクシステムです。

目次

安全上のご注意	1～4	放送設備本体との接続例	
特長	5	(BXシリーズ 5回線)	16、17
各部の名称と説明	6、7	(BXシリーズ 10回線)	18、19
機器の設定	8～10	(業務ラック 20回線)	20、21
表示部の見方	10	(非常ラック 20回線)	22、23
リモートマイクとの接続のしかた	11、12	(EWAシリーズ 10回線)	24、25
回線制御出力端子への配線のしかた	12	(GVシリーズ 5回線)	26、27
エレクトロチャイムユニットの取り付けのしかた	13	ノイズ対策について	28
EIA規格ラックへの取り付けのしかた	14	点検方法	29
卓上への設置のしかた	15	定格	30
壁面への取付のしかた	15	外観寸法図	31
		サポートのご案内/保証書	32

安全上のご注意

必ずお守りください

- ご使用前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解いただいたうえで、本文をお読みください。

絵表示の例



△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異常が起きたときは、ただちに使用をやめ、販売店などに連絡する

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちにコード類を本機から抜き、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。



工事は工事店に依頼する

工事には、技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。



分解／改造はしない

火災や感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



異物を入れない

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。ただちにコード類を本機から抜き、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。



定期点検を実施する

専門の業者（技術者）による定期点検を実施してください。特に経年劣化には充分ご注意ください。異常があれば、ただちに使用をやめ、販売店などにご連絡ください。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しない

火災や感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、機器、コード類、電源プラグに触れない

感電の原因となります。



この機器の上に花瓶など水の入ったものを置かない

こぼれたり中に水が入った場合、火災や感電の原因となります。



この機器の上でろうそく等の炎が発生しているものを置かない

火災の原因となります。



コード類を傷つけない

コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったり、熱器具に近づけたりすると、火災や感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線）、販売店などに交換をご依頼ください。



電源プラグに付着したほこりなどは定期的に取り除く

電源プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。定期的に電源プラグを抜き、乾いた布などで拭きとってください。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。傷んだ電源プラグや、ゆるんだコンセントは使用しないでください。



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災や感電の原因となります。電源プラグを持って抜いてください。



不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



間隔をおいて設置する

内部に熱がこもり火災の原因となります。また、他の機器との間は十分に離して置いてください。ラックなどに入れるときは、すきまをあけてください。



重量に耐える取り付け、設置をする

取り付け、設置の場所や方法が不適切な場合、落下や転倒などでけがの原因となります。取り付けは販売店に依頼してください。



湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災や感電の原因となることがあります。





警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

水滴のかかる場所に置かない

中に水が入った場合、火災や感電の原因となることがあります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お手入れの際は、コード類を本機から抜き、電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因となることがあります。



プラグを
コンセントから
抜け

長期間使用しないときは、コード類を本機から抜き、電源プラグをコンセントから抜く

火災の原因となることがあります。



プラグを
コンセントから
抜け

本機をコンセントの近くに置いて使用する

万一の事故防止のため、すぐにコンセントから電源プラグを抜けるようにして使用してください。



濡れた手で、コード類や電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。



異常に温度が高くなる場所に放置しない

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所などの異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
火災の原因となることがあります。



移動するときは、コード類を傷つけない

移動させる場合は、コード類を本機から抜き、電源プラグをコンセントから抜いてください。
コード類が傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



プラグを
コンセントから
抜け

この機器に乗ったり、ぶらさがったり、足場代わりにしない

特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



通信端子にハブやパソコン並びにPoE対応機種を接続しない

ハブやパソコン並びにPoE対応機種を接続しますと破損・焼損する恐れがあります。



廃棄は専門業者に依頼する

燃やすと化学物質などで目を傷めたり、火災ややけどの原因となります。



音声出力端子に機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。



1年に1回程度は、内部の掃除を工事店などにご相談ください。

内部にほごりのたまった状態で長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

特に湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお掃除費用については、工事店などにご相談ください。



設置・使用上のご注意

- EIAラックに組み込む場合は、本機と電力アンプの間には必ず、1U以上の間隔を開けてください。
別売の換気パネル RIB-1F（別売品）を取り付けることをおすすめします。
- 次のような場所では使用しないでください。誤動作、故障、漏電の原因になります。
・屋外などの雨や日光に直接当たる場所／結露が生じる場所／亜硫酸ガスやアンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所／
激しい振動や衝撃が発生する場所。
- 本機を雑音発生の原因になる機器※の近くには設置しないでください。
※高周波機器(乾燥機、医療機器など)、電気溶接機、ブラッシングモーター、自動車の通る道、携帯電話機、デジタル機器(コンピューター、電子楽器など)、空気清浄器。
- エレクトロチャイムユニットEC-44は、オプションとなっています。
- 入力線と出力線（スピーカー出力など）は、近づけますと発振する恐れがあります。できるだけ離して配線してください。
- 屋外の架空配線や強電線との平行配線をしますと外来の雑音やサージ電圧の影響を受けやすく、ノイズの混入や故障の原因となります。
屋外では、金属管等による地中配線を行い強電線からは離して配線してください。

遮断装置について

- 本機には電源スイッチがありませんので、本機の電源プラグが遮断装置になります。
- ラックなどに組み込む場合は3mm以上の接点距離を有する電源スイッチまたは、配線用遮断器を設置してください。
更に、それらは保護アース導体を除く、主電源のすべての極が遮断できなければなりません。

免責事項について

当社は下記の事項に関して一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- ①お客さまの故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害または本製品の破損など
- ②本製品に直接または間接に関連して生じた、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害
- ③本製品のお客さまご自身による修理、分解または改造が行なわれた場合、それに起因するかどうかを問わず、発生した一切の故障または不具合により生じた損害
- ④本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用ができないことなどによる不便・損害・被害
- ⑤第三者の機器と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

本機を長期間お使いの場合

本機を安全に使用していただくために、販売店または工事業者による定期的な点検をおすすめします。

外観上は異常がなくても、使用条件によっては部品が著しく劣化している可能性があり故障したり、事故の原因となることがあります。下記①～④の様な状態ではないか日常的に確認してください。もしその様な状態を発見されましたら直ちに電源を切り（使用中止）、販売店または工事業者に点検や撤去をご依頼ください。

特に10年を超えて使用されている場合は、定期点検の回数を増やしていただくとともに買い換えの検討をお願いします。

- ①煙が出たり、こげ臭いにおいや異常な音がしている。
- ②電源コード・電源プラグが異常に熱い。または亀裂や傷がある。
- ③本機に触れるとビリビリと電気を感じる。
- ④電源を入れても音が出てこない、その他の異常・故障がある。

特 長

- 最大 20 回線まで対応の、省線式リモートマイクシステムです。
リモートマイクと接続し、各種放送を行うことができます。
- 音声信号・制御信号・電源※を LAN ケーブル 1 本で接続することができます。
※条件があります。11 頁「適合ケーブルと配線距離」をご覧ください。
- リモートマイクを、最大 3 台まで接続できます。
- 接続されたリモートマイクの動作状況を、表示灯で確認できます。
- 配線しやすい脱着式端子台や、プッシュ式端子台を装備しています。
- エレクトロチャイムユニット EC-44(別売)を組み込むことによって、チャイム放送を行うことができます。
- DC 電源にも対応していますので、緊急放送用電源を接続することにより、停電時にも放送を行うことができます。

各部の名称と説明

■ 前面



DC電源入力端子
(停電補償用)

DC24V電源を接続します。
使用される場合は、お近くの営業所
までお問い合わせください。

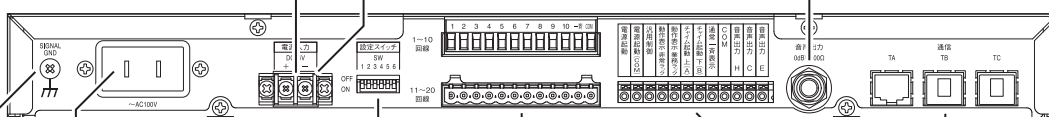
端子カバー

外部電源接続時には、
ショート防止のために、
カバーを取り付けてくだ
さい。

音声出力端子
(ジャック端子)

放送設備やアンプのライン入力などに接続します。
音声/制御入出力端子台の音声出力端子か、どちらか一方に接続してください。

■後面



AC電源入力端子

付属のAC電源ケーブルを使用し、ACコンセント（100V）に接続してください。

アース端子

この端子は、他の音響機器などを接続した場合の雑音の低減をはかるためのものです。
安全アース（接地用）ではありません。

設定スイッチ

本機の設定を行います。
8～10頁「機器の設定」をご覧ください。

回線制御出力端子——
(上段：回線 1 ~ 10、一斉、COM /
下段：回線 11 ~ 20、一斉、COM)

放送設備と接続し、スピーカー回線の選択を行います。
放送設備との接続については、16～27 頁「放送設備本体との接続」を
ご覧ください。

本端子は脱着式です。

本端子への配線方法については、12 頁「回線制御出力端子への配線のしかた」をご覧ください。

一斉放送時の各端子の動きについては、8 頁「一斉放送の設定(SW1)」をご覧ください。

通信端子

リモートマイクの通信端子と接続します。
12頁「リモートマイクとの接続のしかた」をご覧ください。
複数台接続する際は、コネクタのカバーを外して
接続してください。
※リモートマイク以外の機器は接続しないでください。

電源表示灯

本機に電源が供給されているとき緑点灯します。

リモートマイク動作表示灯1～3

本機に接続されているリモートマイクの動作状態を表します。
10頁「表示部の見方」をご覧ください。

音声／制御入出力端子台

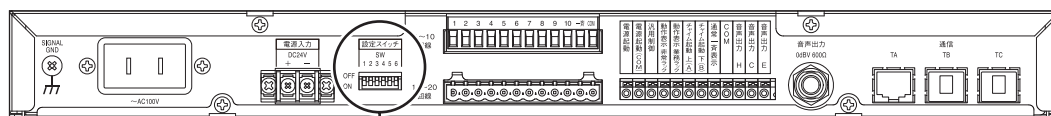
放送設備と接続し、制御や状態の監視、音声の出力を行います。
使用状況に応じて、必要な端子を接続してください。
16～27頁「放送設備本体との接続」をご覧ください。

電源起動	電源起動 (COM)	汎用制御	動作表示 非常ラック	動作表示 業務ラック	チャイム起動上 (A)	チャイム起動下 (B)	通常一斉表示	COM	音声出力 H	音声出力 C	音声出力 E

表示	入力/出力	駆動形式	動作仕様	
電源起動	出力	無電圧 メーク接点出力	役割	接続機器の電源を起動します。
			起動条件	リモートマイクがいずれかの回線を選択している。
電源起動 (COM)	—	—	役割	「電源起動」用の COM 端子です。
汎用制御	出力	無電圧 メーク出力	役割	特定用途を持たない汎用の出力端子です。
			起動条件	リモートマイクがいずれかの回線を選択している。
動作表示 非常ラック	入力	フォトブラ 入力 (24V)	役割	ラック形非常用放送設備の電源起動状態を検知し、リモートマイク側で本体動作表示灯を点灯させます。
			起動条件	本端子に DC24V が印加されている。
動作表示 業務ラック	入力	無電圧 メーク 接点入力	役割	ラック形業務用放送設備の電源起動状態を検知し、リモートマイク側で本体動作表示灯を点灯させます。
			起動条件	本端子がメークされている。
チャイム起動上 (A)	出力	オープン コレクター出力	役割	放送設備に内蔵／搭載されたチャイム機器を起動します。
			起動条件	放送可能なリモートマイクの、チャイム上り (A) スイッチを押す。
チャイム起動下 (B)	出力	オープン コレクター出力	役割	放送設備に内蔵／搭載されたチャイム機器を起動します。
			起動条件	放送可能なリモートマイクの、チャイム下り (B) スイッチを押す。
通常一斉表示	出力	オープン コレクター出力	役割	接続機器の通常一斉表示灯を点灯します。 ※通常一斉表示の制御入力端子を備えている放送設備のみ。
			起動条件	放送可能なリモートマイクが、一斉スイッチを押している。 ※本機のリモートマイク一斉設定が「回線 1-20 端子制御」(設定スイッチの SW1 が ON) に設定されている場合のみ。
COM	—	—	役割	「汎用制御」、「動作表示 非常ラック」、「動作表示 業務ラック」、「チャイム起動」、「通常一斉表示」用の COM 端子です。
音声出力 H	出力	—	役割	音声を出力します。放送設備やアンプのライン入力などに接続します。 ※ジャック端子の音声出力端子か、どちらか一方に接続します。
音声出力 C	出力	—		
音声出力 E	—	—	役割	「音声出力 H」「音声出力 C」用の COM 端子です。

機器の設定

- 使用方法に応じて設定をおこなってください。



設定スイッチ

SW
1 2 3 4 5 6

OFF

ON

SW1 : リモートマイク斉設定スイッチ

SW2-3: リモートマイク台数設定スイッチ

SW4-5: 外部入力フェーダー設定スイッチ

SW6 : 音声出力レベル切換スイッチ

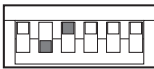
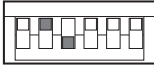
■一斉放送の設定(SW1)

- リモートマイクの一斉スイッチを押して一斉放送を行う際に、どの出力端子から制御信号を出力するかを設定します。

リモートマイク斉設定		説明
一斉 端子制御 (出荷時)	1 2 3 4 5 6 OFF ON SW1: OFF	回線制御出力端子の「一斉」から制御信号を出力します。 放送設備の一斉入力端子を使用する場合は、この設定にします。
回線1-20 端子制御	1 2 3 4 5 6 OFF ON SW1: ON	回線制御出力端子の「回線 1 ～ 20」全てから制御信号を出力します。 放送設備の一斉入力端子を使用せずに一斉放送を行う場合は、この設定にします。

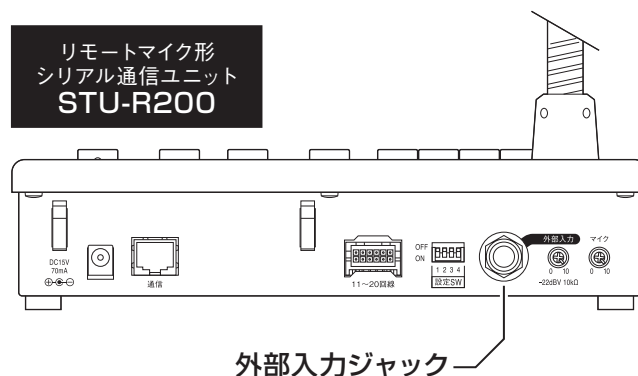
■リモートマイク接続台数の設定(SW2-3)

- 本機に接続するリモートマイクの台数を設定します。
- リモートマイク側も、接続台数に応じた ID 設定が必要です(リモートマイクの取扱説明書をご覧ください)。

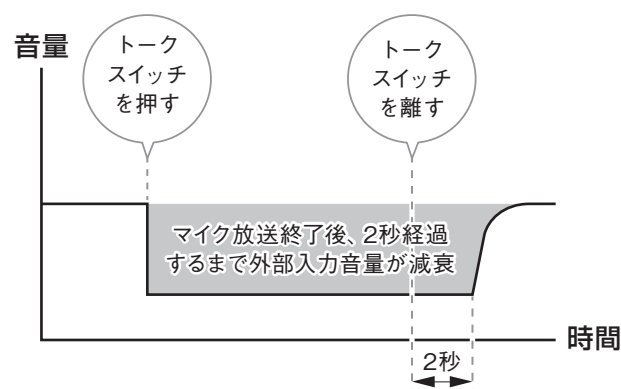
リモートマイク台数設定		
1台 (出荷時)	1 2 3 4 5 6 OFF ON  SW2: OFF SW3: OFF	
2台	1 2 3 4 5 6 OFF ON  SW2: ON SW3: OFF	
3台	1 2 3 4 5 6 OFF ON  SW2: OFF SW3: ON	

■外部入力フェーダー機能の設定(SW4-5)

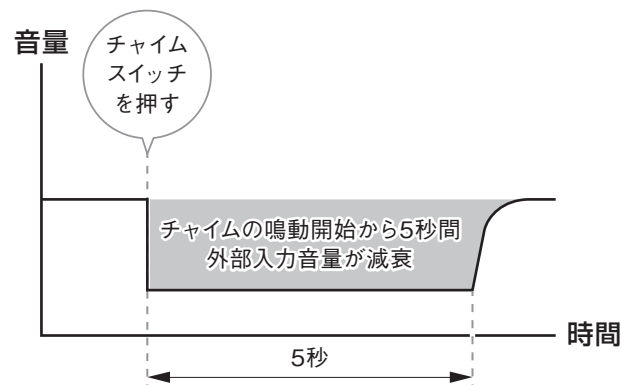
- マイク放送時およびチャイム鳴動時に、リモートマイクの外部入力ジャックに接続された機器の音量を自動で小さくするかどうかを設定します。
 - 出荷時の設定では、自動で音量が小さくなります。
 - 減衰量は固定です(−34dB)。
- ※接続されたリモートマイク全てに適用されます。
1台ずつ個別に設定する事はできません。



外部入力フェーダー設定 (マイク放送時)		
音量を 小さくする (出荷時)	1 2 3 4 5 6 OFF ON	SW4: OFF
音量を 変えない	1 2 3 4 5 6 OFF ON	SW4: ON



外部入力フェーダー設定 (チャイム鳴動時)		
音量を 小さくする (出荷時)	1 2 3 4 5 6 OFF ON	SW5: OFF
音量を 変えない	1 2 3 4 5 6 OFF ON	SW5: ON



チャイムを使用しない場合は、チャイムスイッチの誤操作で音量が減衰しないよう、「音量を変えない」設定にすることをおすすめします。

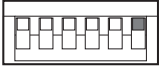
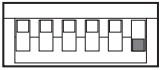
エレクトロチャイムユニットEC-44 (別売) をご使用の場合

- EC-44は、設定によりチャイム鳴動時間を調整することができますが、本機の音量減衰時間は、打音間隔が「標準」設定時の4音チャイムを想定しています。
- 極端に打音間隔を長くしている場合は減衰時間を超えてしまいますので、打音間隔を短く設定してください。

機器の設定

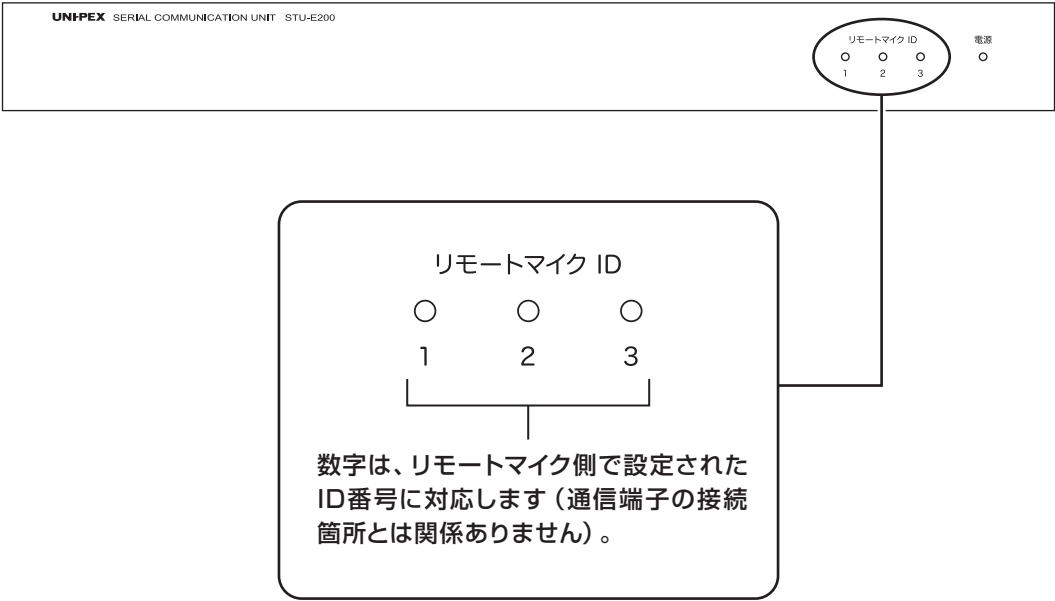
■音声出力レベルの設定(SW6)

- 音声出力のレベルを以下のように切り換えることができます。
接続する機器の入力感度に合わせて設定してください。

出力レベル設定	
0dBV (出荷時)	1 2 3 4 5 6 OFF ON  SW6: OFF
-20dBV	1 2 3 4 5 6 OFF ON  SW6: ON

表示部の見方

- リモートマイク動作表示灯1〜3は、本機に接続されているリモートマイクの動作状況を示します。

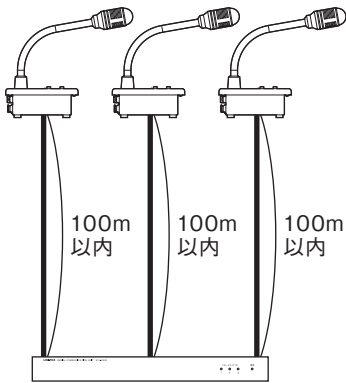
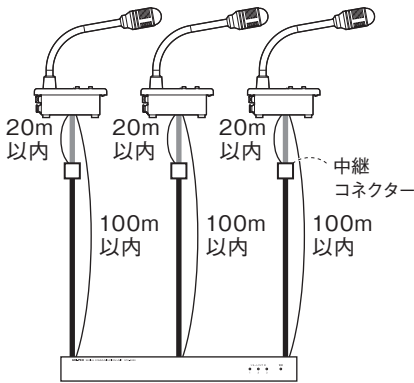
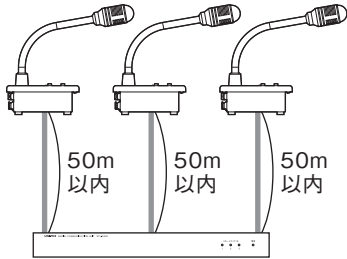
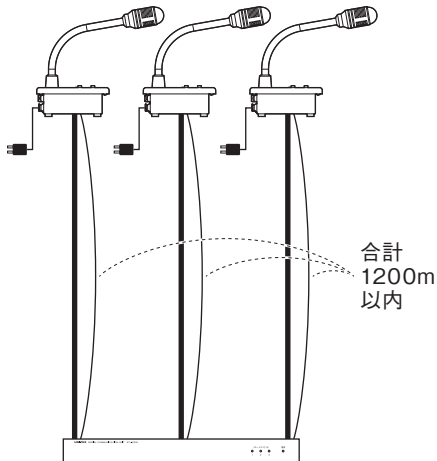
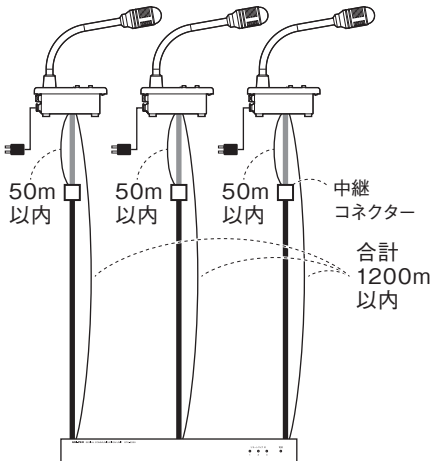
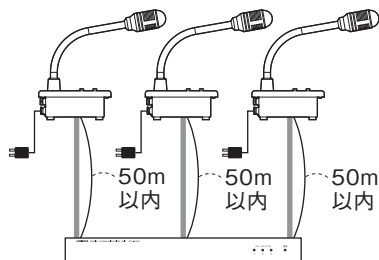


表示	説明
緑点灯	回線が選択されており、放送中です。
緑点滅	回線を選択していますが、優先度の関係により、他のリモートマイクが放送中のため、放送を待機しています。
消灯	回線を選択していません。 ※そのIDのリモートマイクが未使用である場合も含まれます。
赤点滅	エラーが起きています (29頁「点検方法」をご覧ください)。

リモートマイクとの接続のしかた

■適合ケーブルと配線距離

- リモートマイクと接続するLANケーブルは、CAT5e 以上のストレートタイプをお使いください。
- LANケーブルの形状（スタンダード、フラット）によっても、配線可能な距離が変わります。
- リモートマイクとの接続距離が長くなる場合や、ノイズの影響を受ける場合は、リモートマイクに付属のACアダプターをリモートマイクに接続してください。

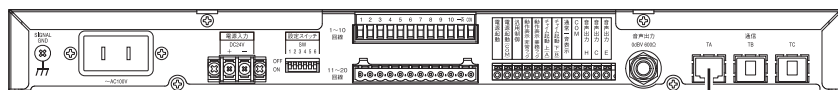
LANケーブル形状			
	スタンダードケーブルのみ	スタンダードケーブル ＋ フラットケーブル	フラットケーブルのみ
ACアダプターなし	1回線あたり100m以内。 	1回線あたり100m以内。 その内、フラットケーブルは20m以内。 	1回線あたり50m以内。 
	全回線の合計が1200m以内。 	全回線の合計が1200m以内。 その内、フラットケーブルは1回線あたり50m以内。 	1回線あたり50m以内。 
ACアダプターあり			

リモートマイクとの接続のしかた

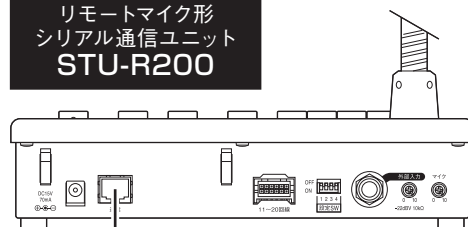
■接続方法

- 本機とリモートマイクの通信端子を、LAN ケーブル(別売)で接続してください。
- 通信端子 TA、TB、TC のいずれに接続しても差異はありません。

シリアル通信ユニット
STU-E200



リモートマイク形
シリアル通信ユニット
STU-R200



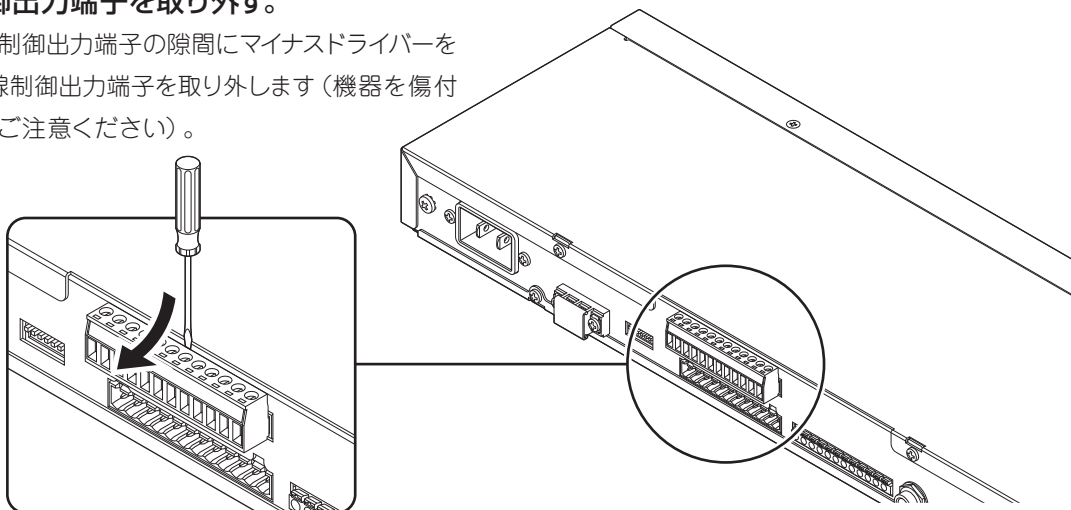
LANケーブル

回線制御出力端子への配線のしかた

- 次の要領で配線してください。

1. 回線制御出力端子を取り外す。

- ・本機と回線制御出力端子の隙間にマイナスドライバーを挿入し、回線制御出力端子を取り外します(機器を傷付けないようご注意ください)。



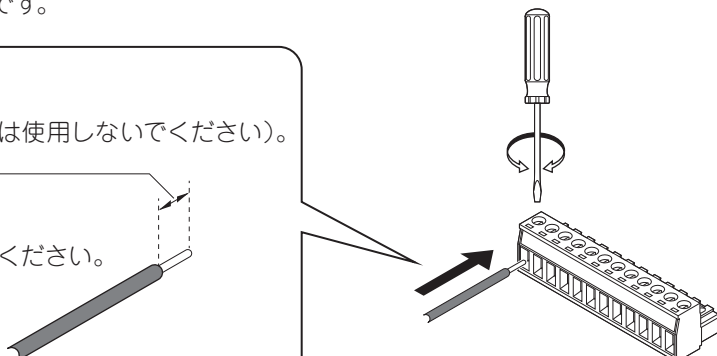
2. 回線制御出力端子に線材を接続する。

- ①マイナスドライバーを使用して回線制御出力端子のねじを緩めます。
- ②線材の絶縁体を剥がし、導体をしっかりよってから、先端を回線制御出力端子に差し込み、ねじを締めます。
- ③本機に回線制御出力端子を取り付けます。

※増設用の回線制御出力端子も、同様の手順です。

ケーブルの加工

- 推奨線材：AWG28～AWG16(半田付け線は使用しないでください)。
- 剥奪される絶縁体の長さ：7mm±1mm
- ねじの直径：φ2mm
- 線材が確実に接続されている事を確認してください。

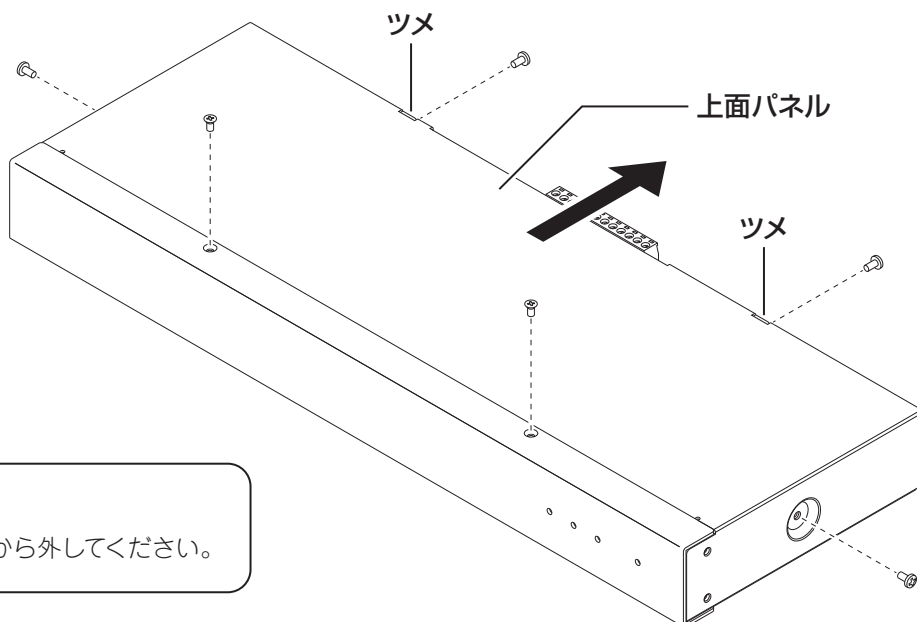


エレクトロチャイムユニット (EC-44) の取り付けのしかた

●本機はエレクトロチャイムユニット EC-44(別売)を取り付けることで、チャイムの鳴動を行うことができます。

1. 本機の上面パネルを取り外す。

- ①上面パネルを取り付けている6本のねじを外します。
- ②つまめを外し、上面パネルを後方に引き出すように取り外します。

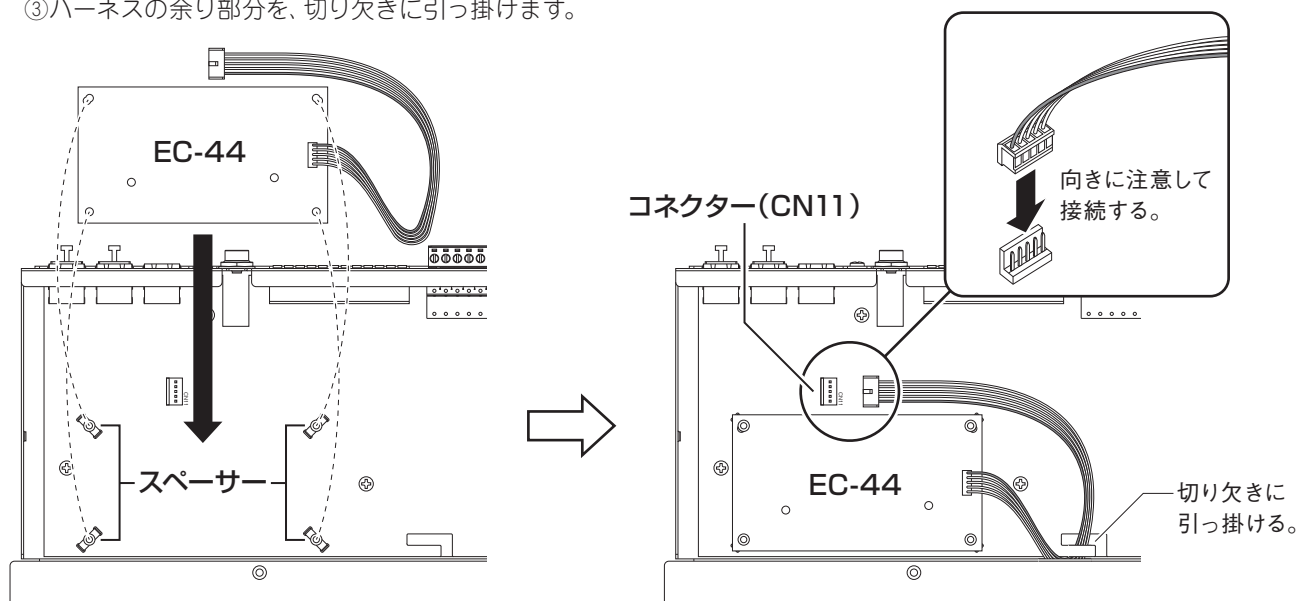


ご注意

- 電源プラグを必ずコンセントから外してください。

2. エレクトロチャイムユニットEC-44を本機に固定し、コネクタを接続する。

- ①本機内部の底面にあるスペーサー(4ヵ所)と、EC-44の4隅の穴の位置を合わせ、しっかりと固定します(基板の向きにご注意ください)。
- ②EC-44のコネクタを、本機内部のコネクタ (CN11) に接続します。
- ③ハーネスの余り部分を、切り欠きに引っ掛けます。



3. EC-44の音量や打音間隔の調整を行い、上面パネルを取り付ける。

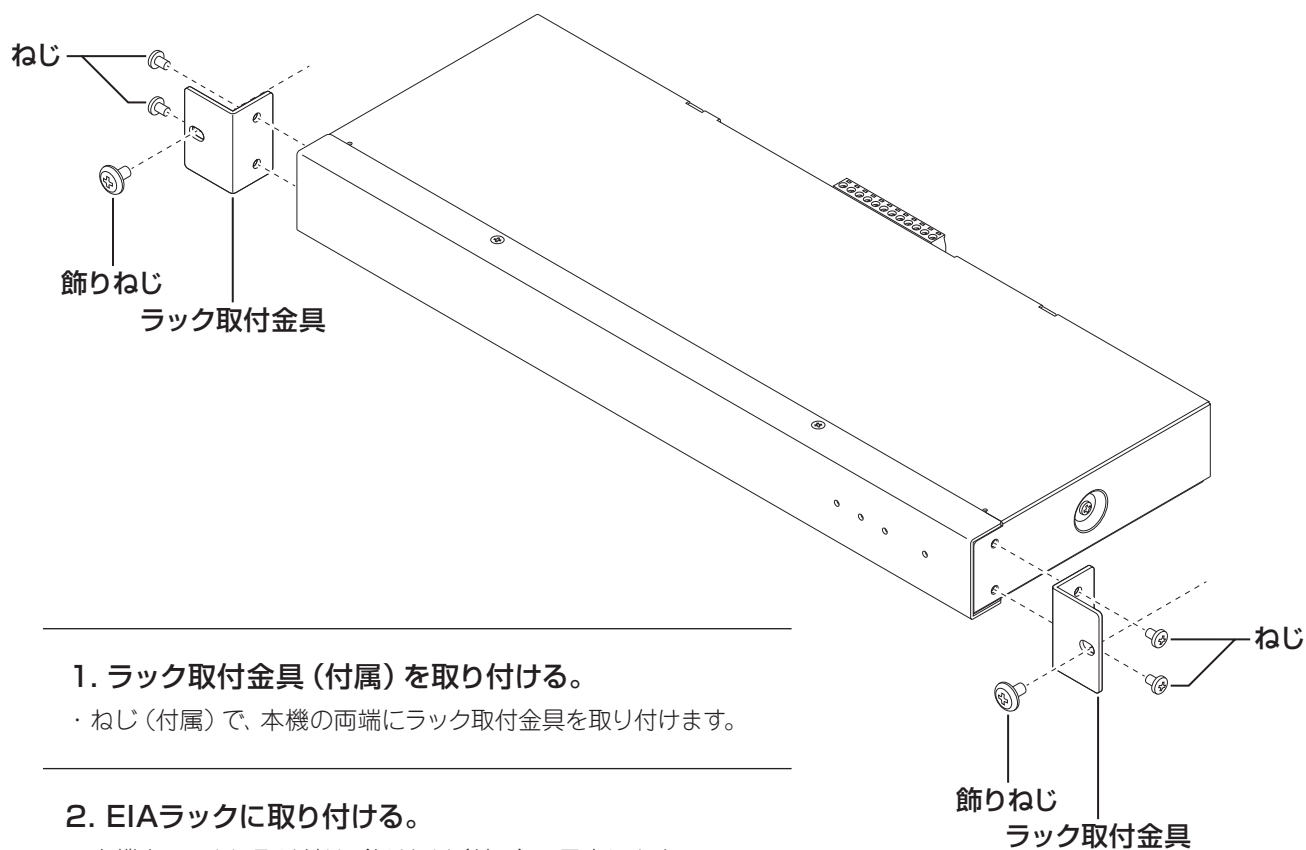
- ①必要に応じて、EC-44の調節を行います(詳細はエレクトロチャイムユニットEC-44の取扱説明書をご覧ください)。打音間隔の設定については、9頁「エレクトロチャイムユニットEC-44(別売)をご使用の場合」もご覧ください。
- ②元どおりに、上面パネルを取り付けます。

EIA規格ラックへの取り付けのしかた

- EIA 規格ラックに本機を取り付ける場合は、ラック取付金具(付属)で、下図のように取り付けてください。

メモ

- 上下に他の機器が組み込まれている場合は、先に配線を済ませた上で取り付けを行うことをおすすめします。



1. ラック取付金具(付属)を取り付ける。

- ・ねじ(付属)で、本機の両端にラック取付金具を取り付けます。

2. EIAラックに取り付ける。

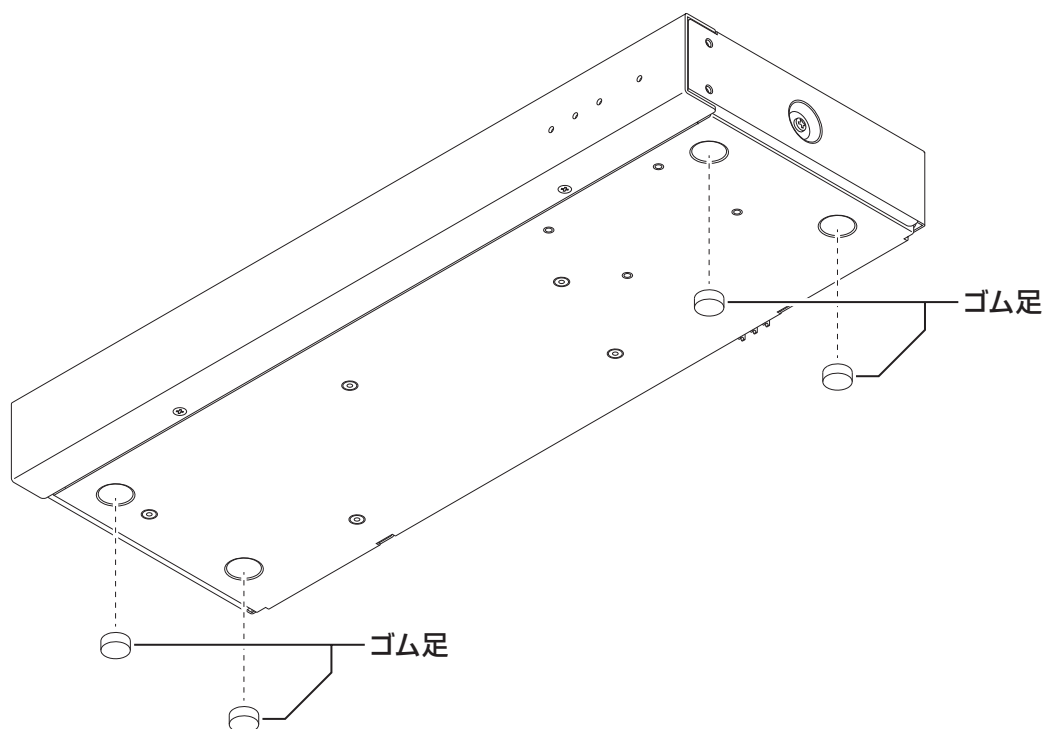
- ・本機をラックに取り付け、飾りねじ(付属)で固定します。

ご注意

- 電力アンプと一緒にラックへ取り付ける場合は、電力アンプと本機との間を1U以上あけてください。
- ラック内の温度が+40℃以上にならないように、通風や換気を良くしてください。
- 接続端子の形状によっては他の機器に接触する恐れがありますので注意してください。

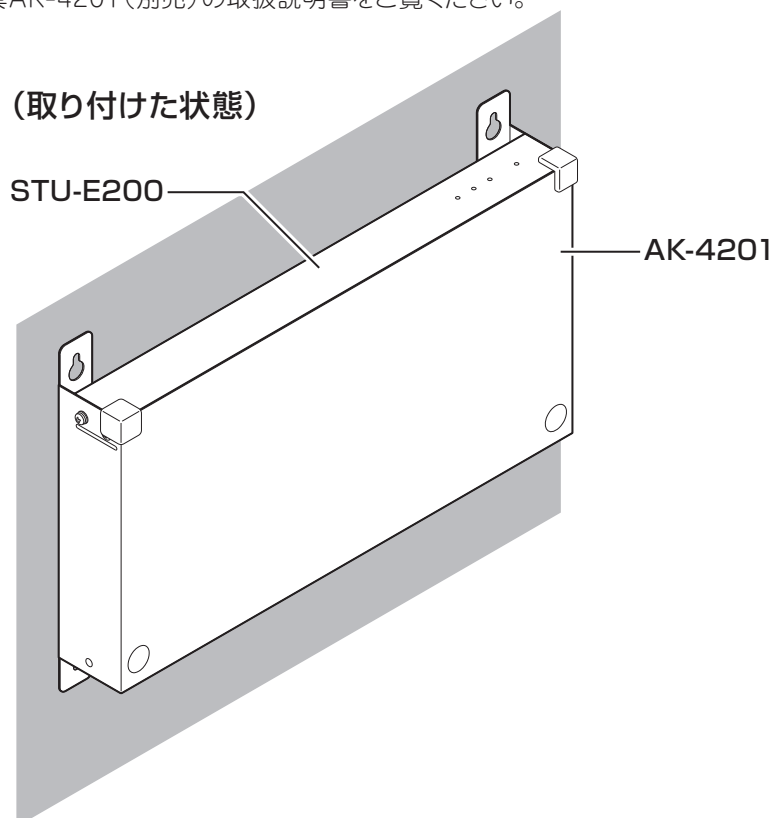
卓上への設置のしかた

- 卓上に設置する場合は、ゴム足(付属)を下図のように取り付けてください。

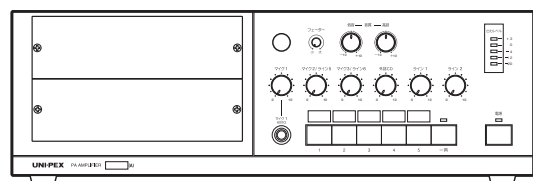


壁面への取り付けのしかた (壁面取付金具AK-4201 (別売) を使用)

- 壁面取付金具AK-4201 (別売) の取扱説明書をご覧ください。



放送設備本体との接続例 (BXシリーズ 5回線)



卓上形アンプ
BX-120

BX 内部のジャンパーピン (通常
一斉 / 緊急一斉 設定切り換え用)
は、「緊急一斉」にする (出荷状態)。

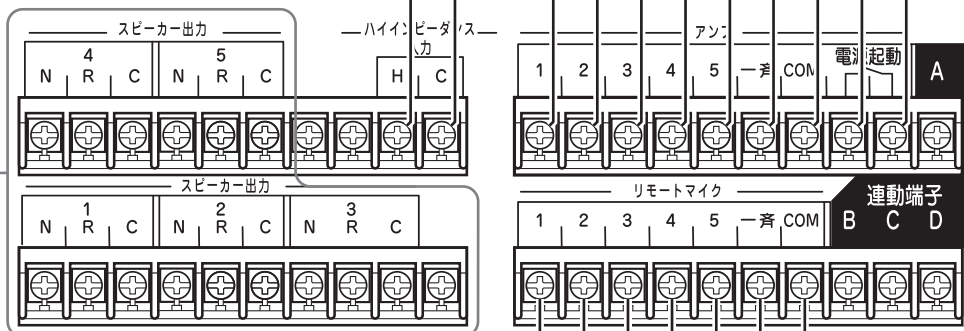
スピーカー 40出力	5	4	3	2	1	一斉 (R)	一斉 (R)	E	E	NC (チャイム)	電源起動	一斉起動	上段
ローインピー ダンス出力	スピーカー 40共通	スピーカー 40共通	スピーカー 40共通	スピーカー 40共通	スピーカー 40共通	出力 共通 (70系)	出力 共通 (100系)	出力 0V (27V 0.1A)	リモート電源24V (27V 0.1A)	非常制御	外部電源 24V	下段	

ショートバーを
2つ外す。



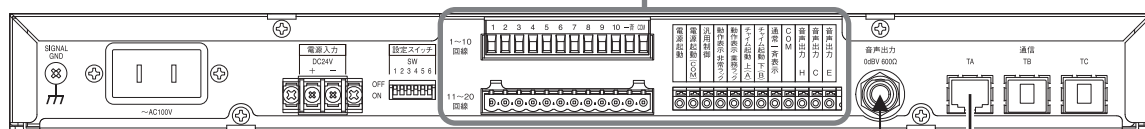
5回線用リレーボックス
BR-50

スピーカーを接続。



リモートマイク
優先設定
ON OFF
JP1

シリアル通信ユニット
STU-E200

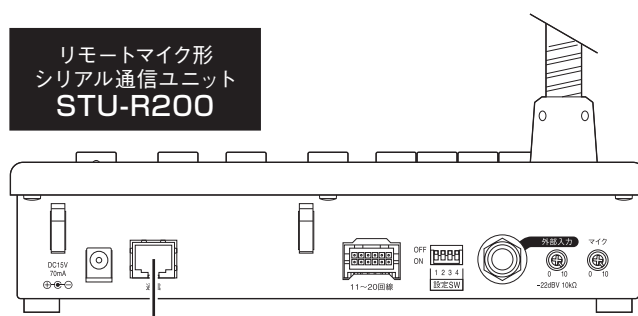


AC100V
コンセント

- BXシリーズの出力系統を5回線制御できるシステムです。
- BX側とリモートマイク側の両方で回線選択が可能です。

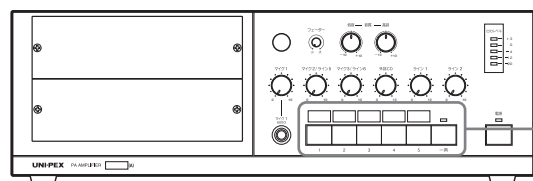
BX シリーズに内蔵した
チャイム機器を使用する
場合のみ。

※使用状況に応じて設定する。



LANケーブル

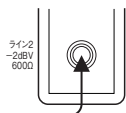
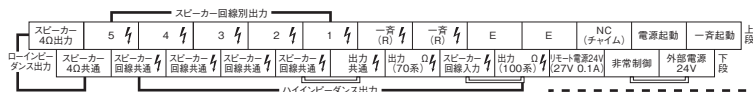
放送設備本体との接続例 (BXシリーズ 10回線)



卓上形アンプ
BX-120

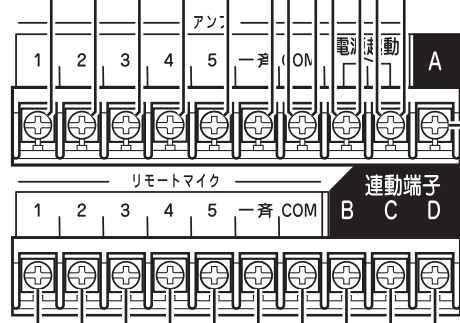
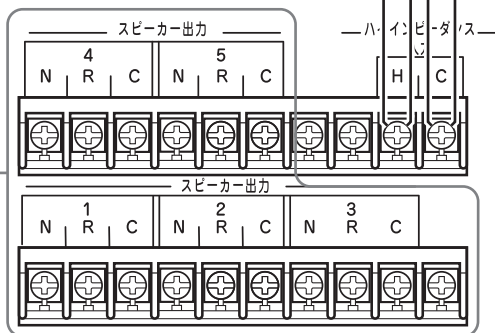
BX 本体の回線選択スイッチは
使用しない (BX 側での回線選択
は、SB-100 のスイッチで行う)。

BX 内部のジャンパーピン (通常
一斉 / 緊急一斉 設定切り換え用)
は、「緊急一斉」にする (出荷状態)。



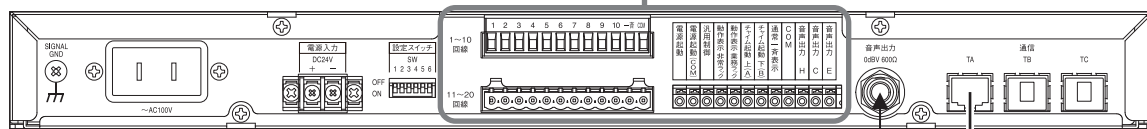
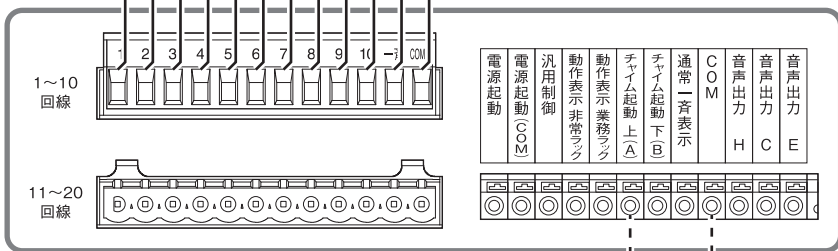
5回線用リレーボックス
BR-50
(回線 1~5)

スピーカーを接続
(回線 1~5)。



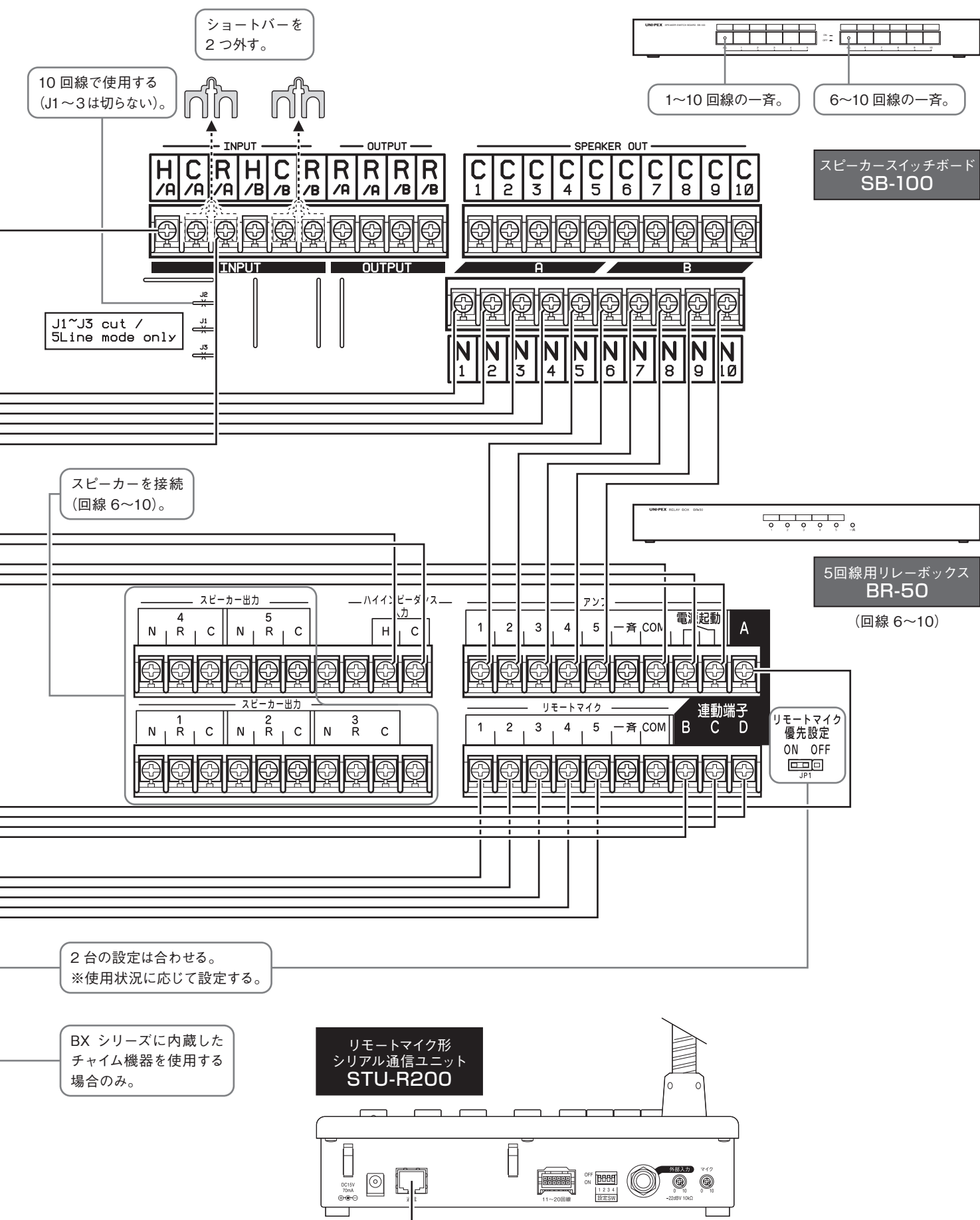
リモートマイク
優先設定
ON OFF
JP1

シリアル通信ユニット
STU-E200



AC100V
コンセント

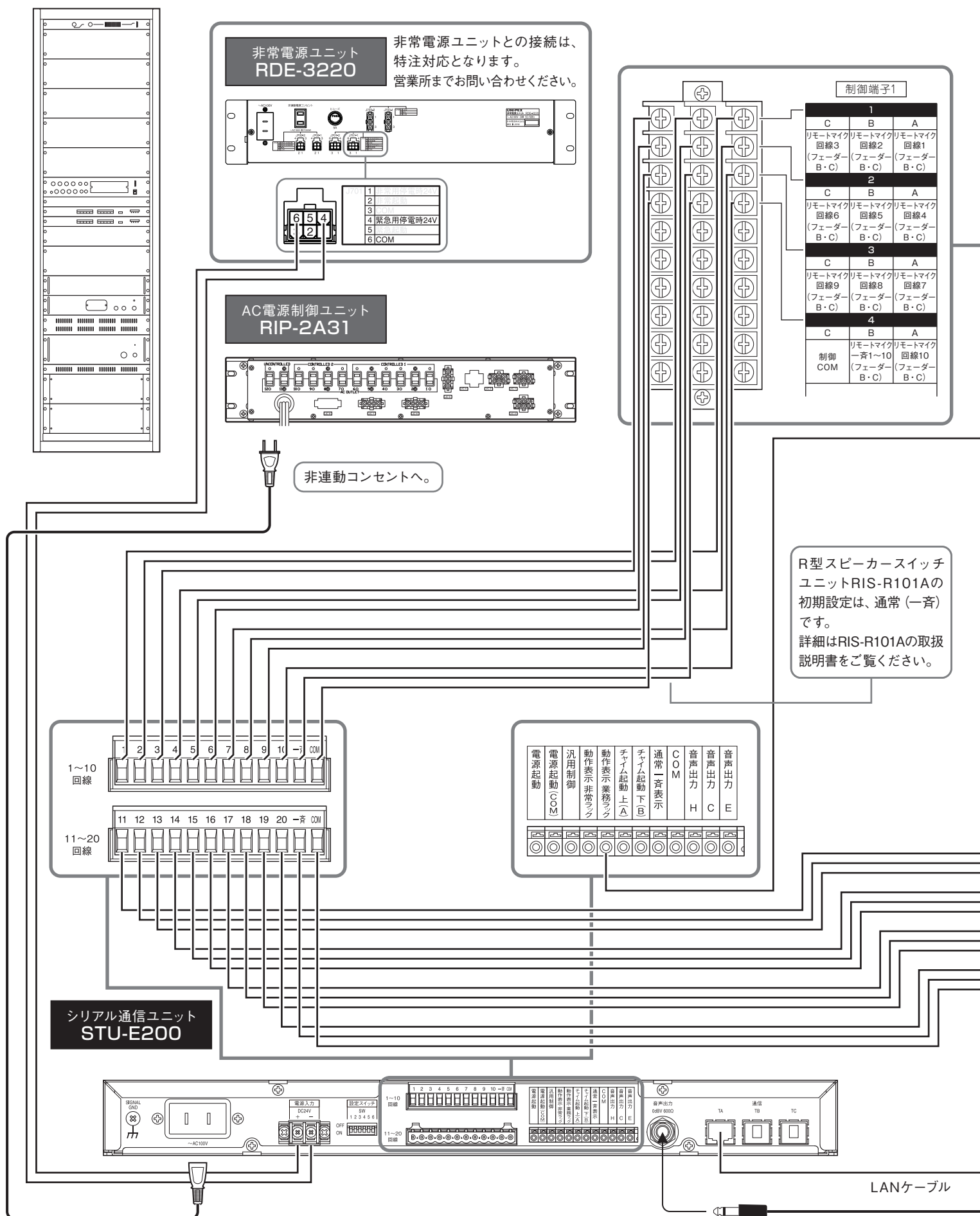
- BXシリーズの出力系統を10回線制御できるシステムです。
- SB-100により、放送設備側で選択可能な回線数を5回線→10回線にしています。
- SB-100側とリモートマイク側の両方で回線選択が可能です。



2台の設定は合わせる。
※使用状況に応じて設定する。

BXシリーズに内蔵した
チャーム機器を使用する
場合のみ。

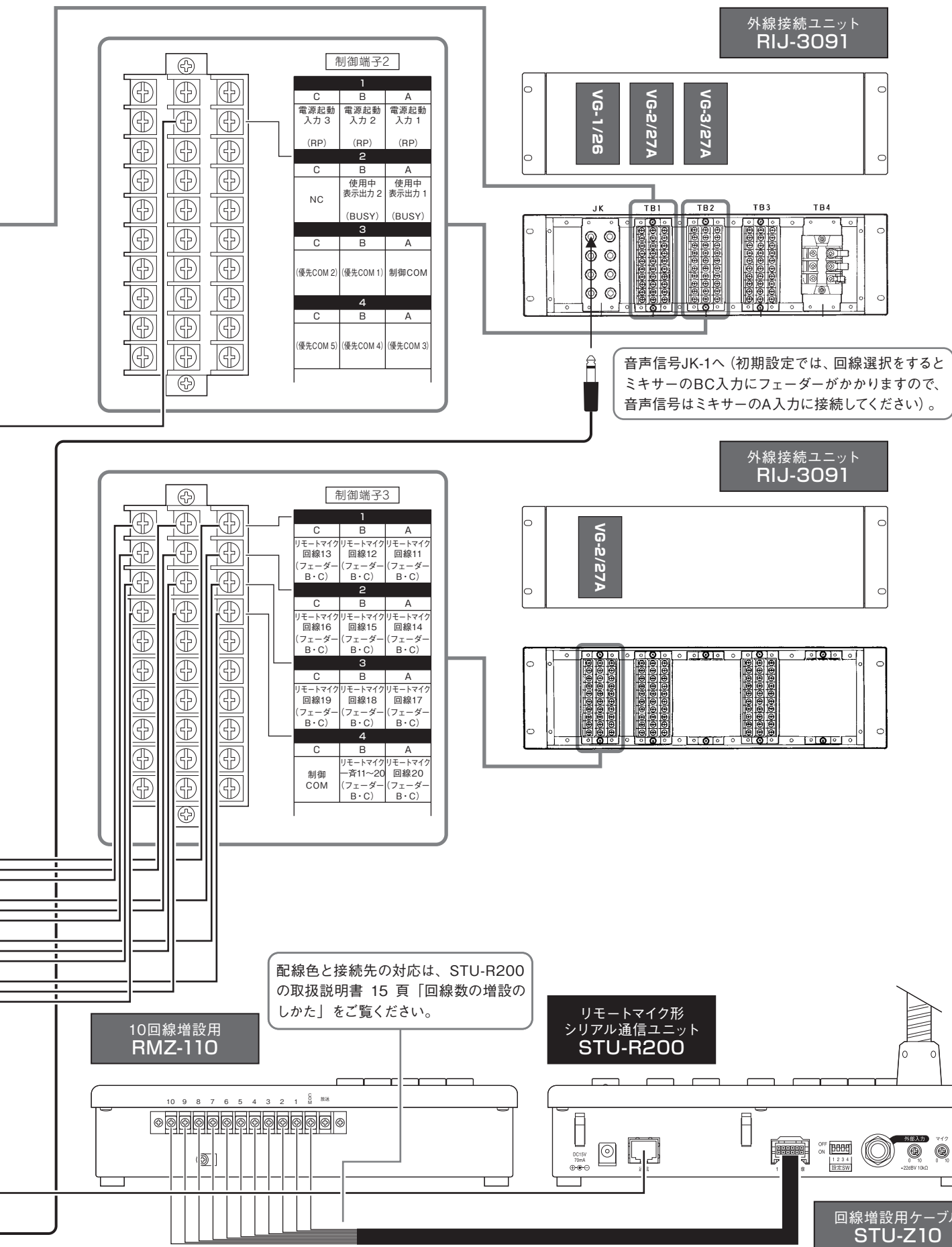
放送設備本体との接続例（業務ラック 20回線）



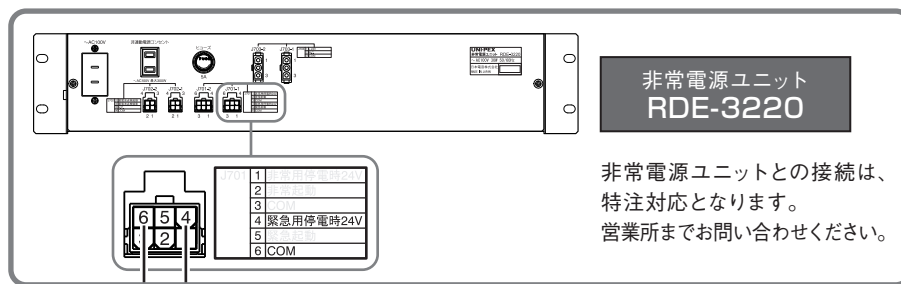
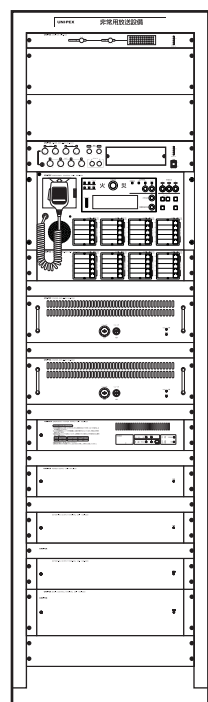
●業務ラックの出力系統を20回線制御できるシステムです。

・RMZ-110（およびSTU-Z10）を使用し、リモート制御可能な系統を10回線→20回線に増設しています。

※停電補償用の非常電源ユニットを使用する場合は特注対応となりますので、営業所までお問い合わせください。

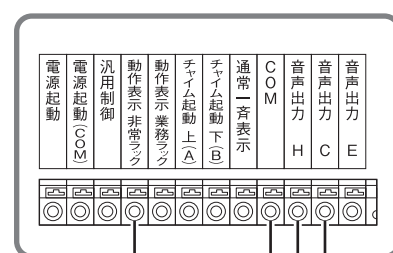
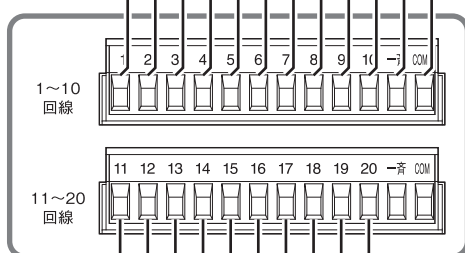


放送設備本体との接続例（非常ラック 20回線）

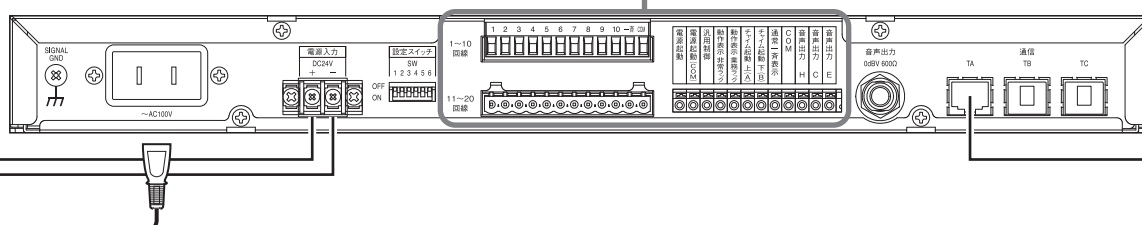


ご注意

非常ラック用の非常電源ユニット（非常放送用）を、
シリアル通信ユニットの非常電源には使用しないで
ください。
業務用（緊急放送用）として別に用意した非常電源
ユニットを接続してください。



シリアル通信ユニット STU-E200

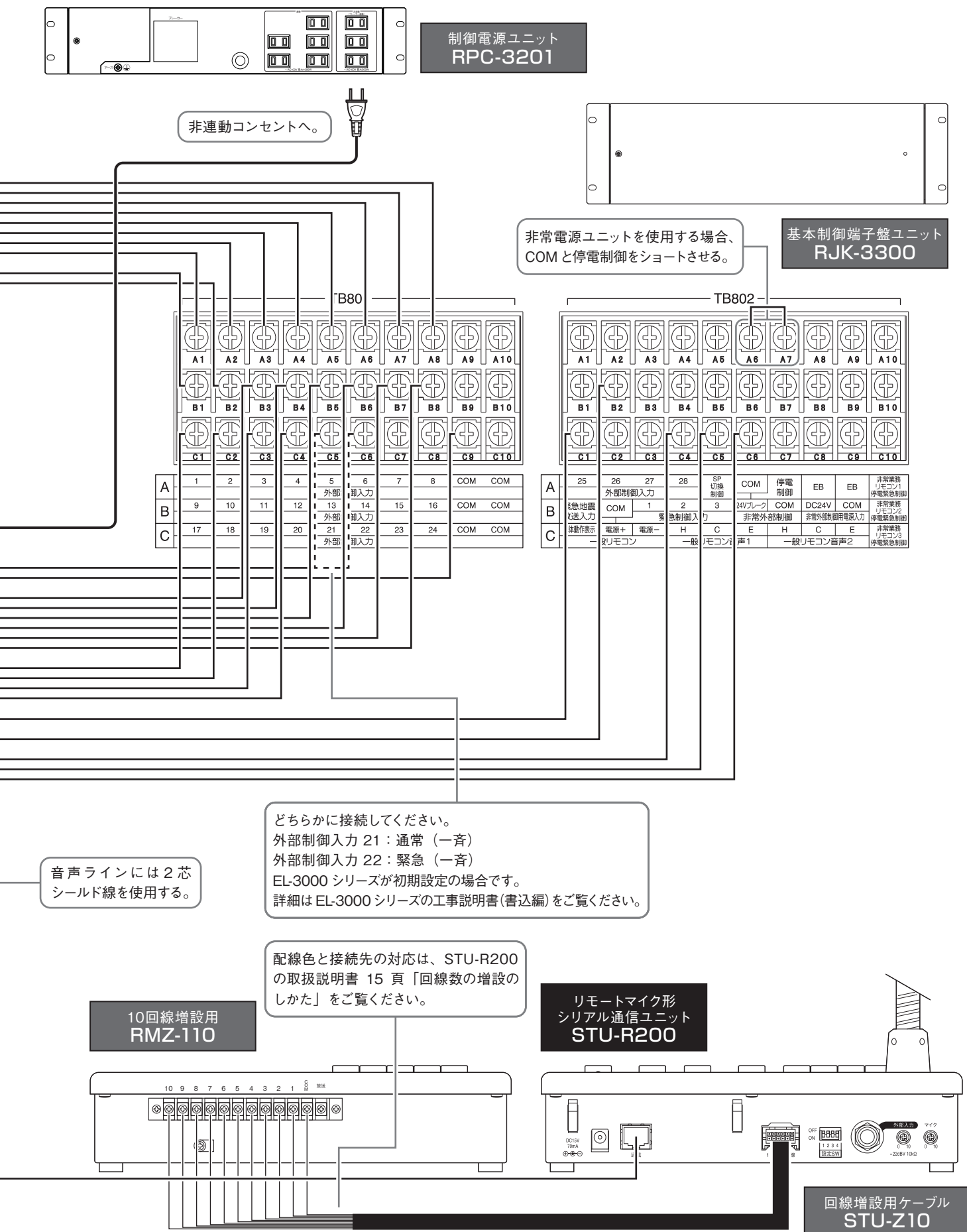


LANケーブル

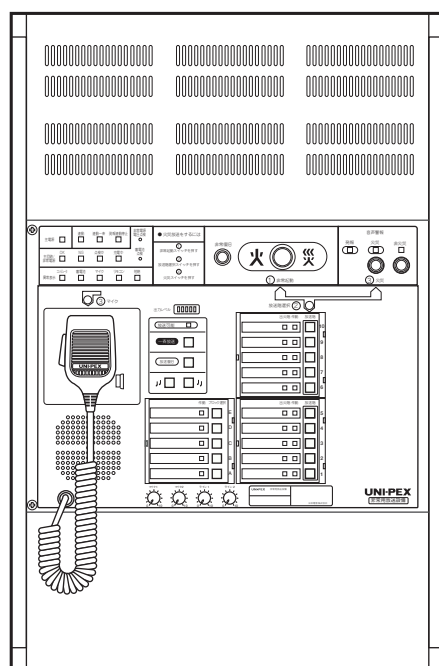
●非常ラックの出力系統を20回線制御できるシステムです。

・RMZ-110（およびSTU-Z10）を使用し、リモート制御可能な系統を10回線→20回線に増設しています。

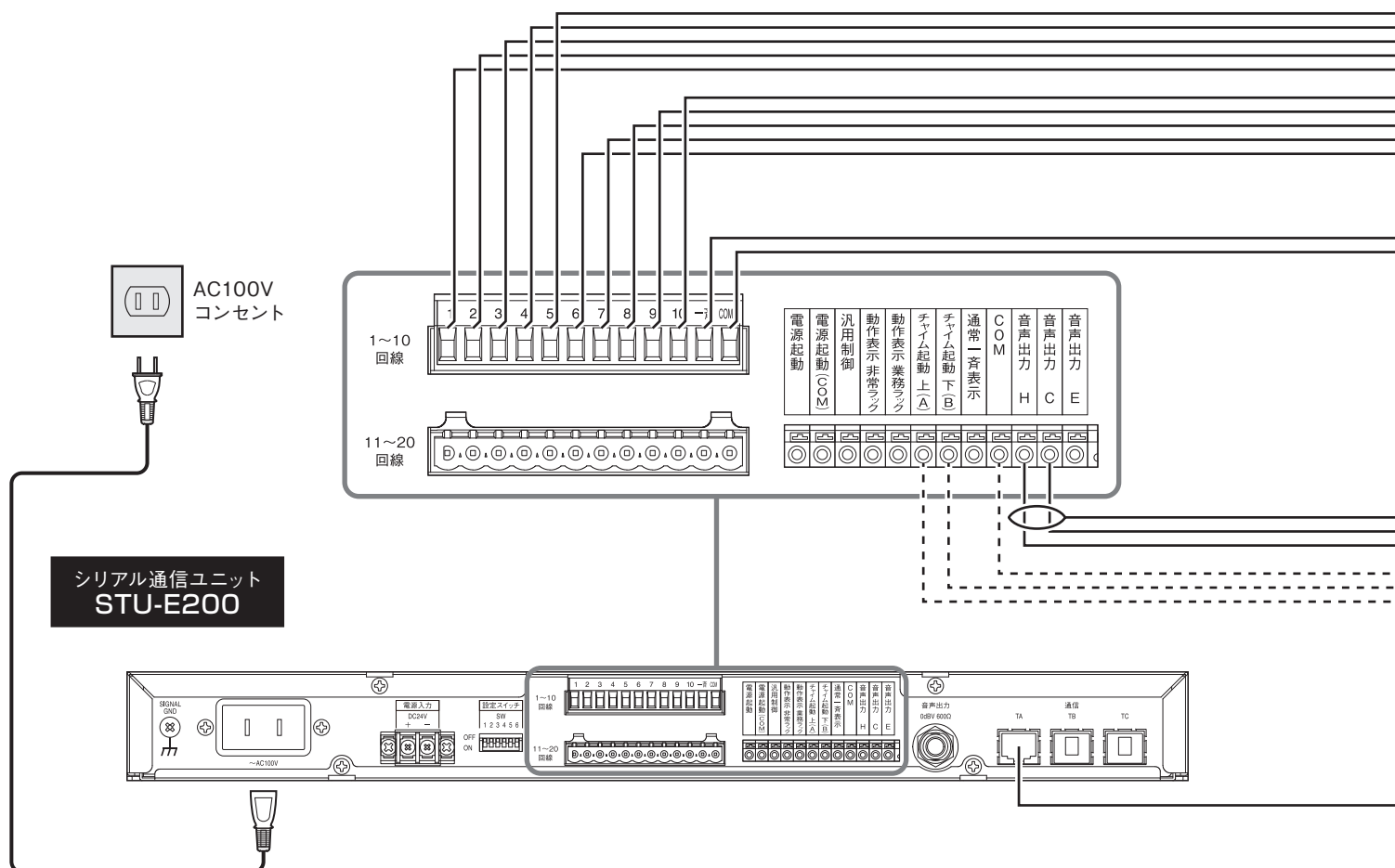
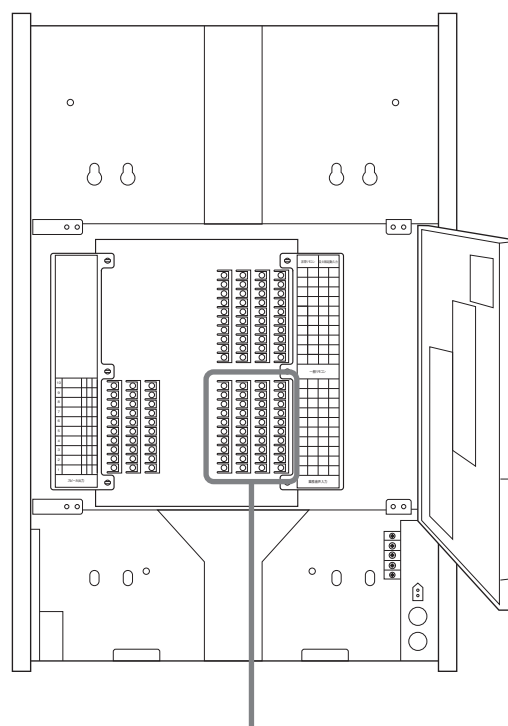
※停電補償用の非常電源ユニットを使用する場合は特注対応となりますので、営業所までお問い合わせください。



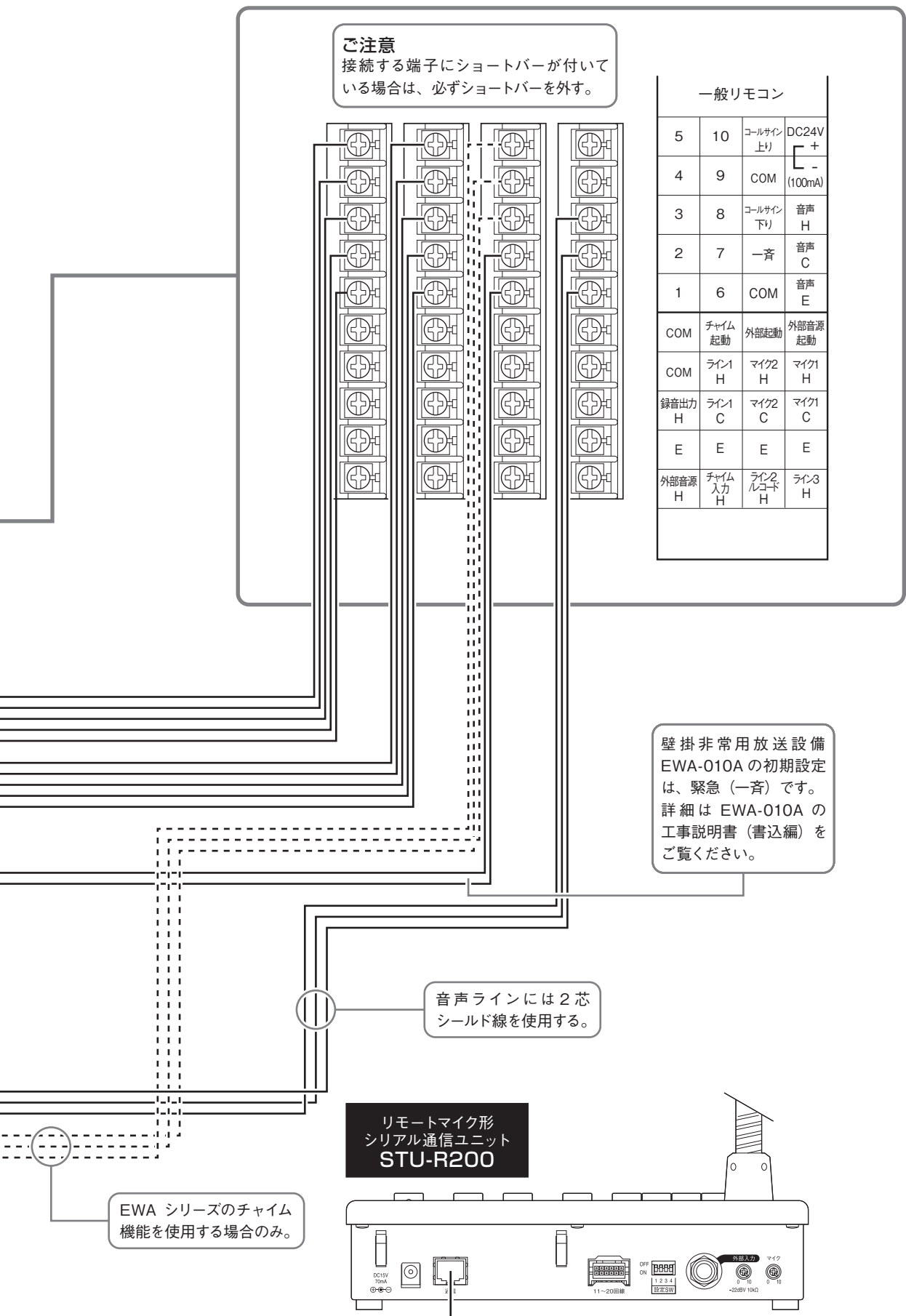
放送設備本体との接続例 (EWAシリーズ 10回線)



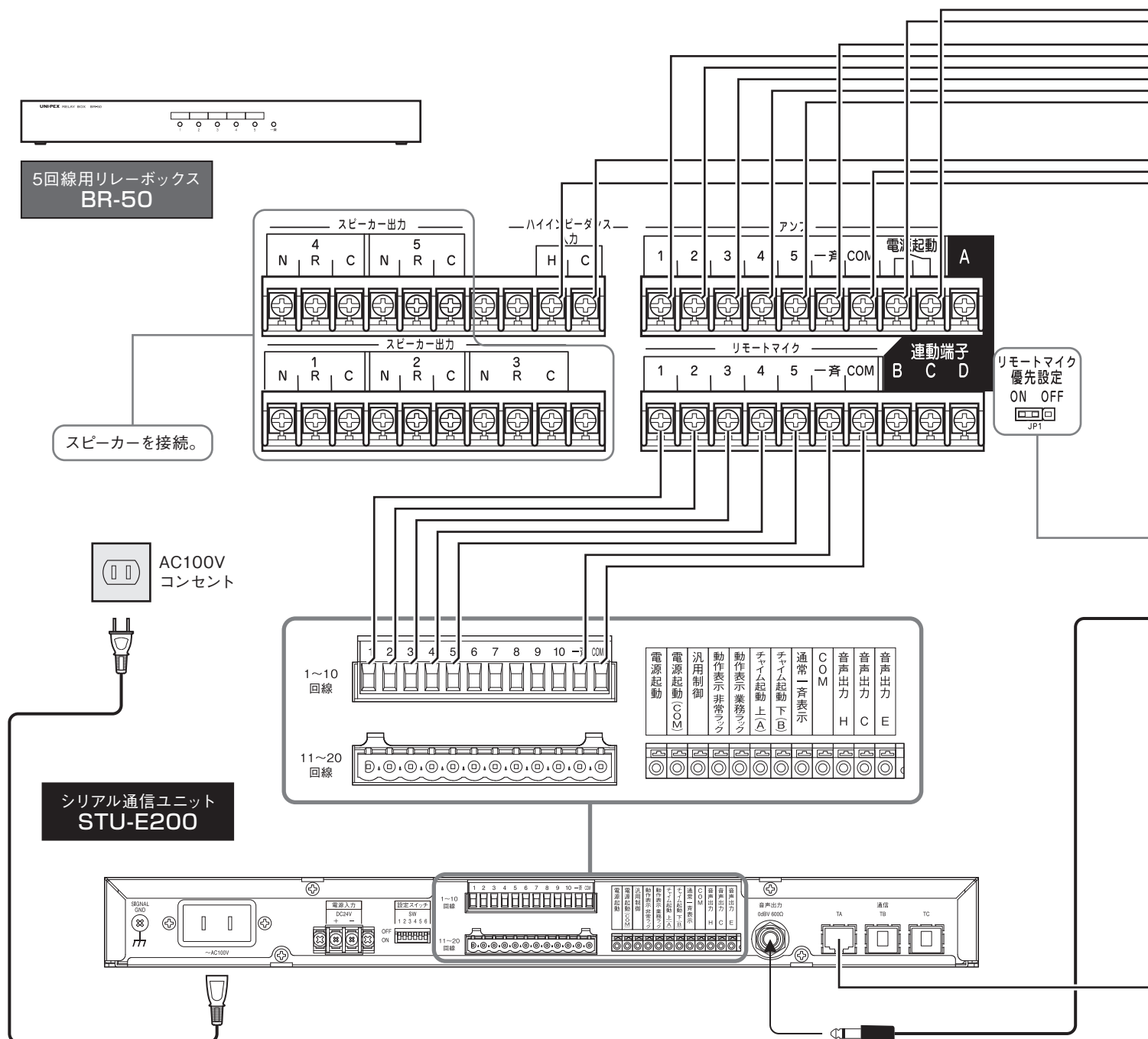
壁掛非常用放送設備
EWA-010A



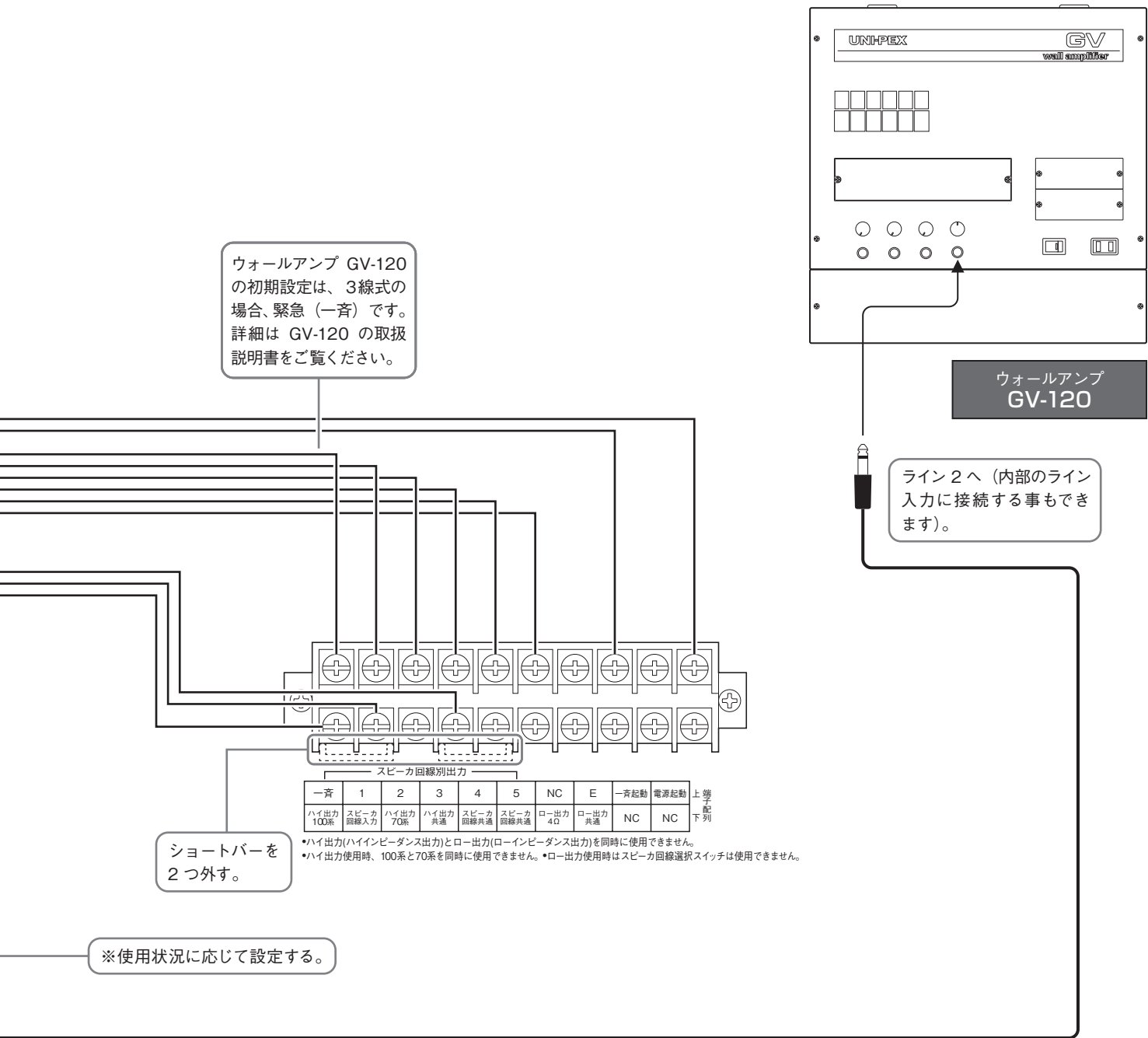
●EWAシリーズの出力系統を10回線制御できるシステムです。



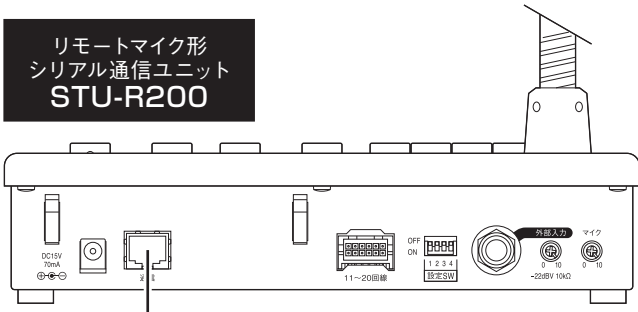
放送設備本体との接続例 (GVシリーズ 5回線)



- GVシリーズの出力系統を5回線制御できるシステムです。
- GV側とリモートマイク側の両方で回線選択が可能です。



リモートマイク形
シリアル通信ユニット
STU-R200



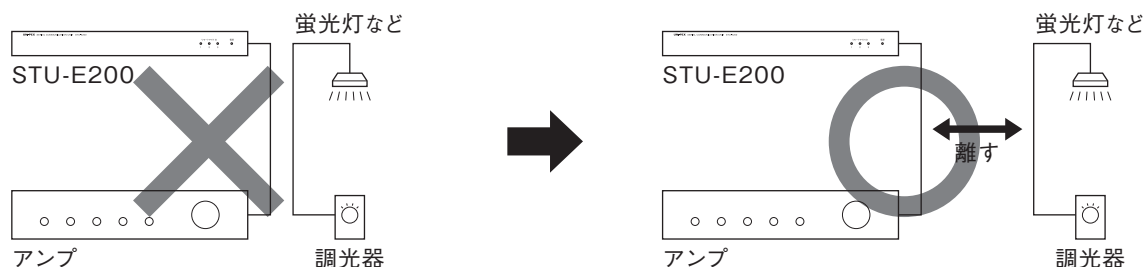
LANケーブル

ノイズ対策について

- 配線について、特に次の点にご注意ください。

◆制御線のノイズ対策

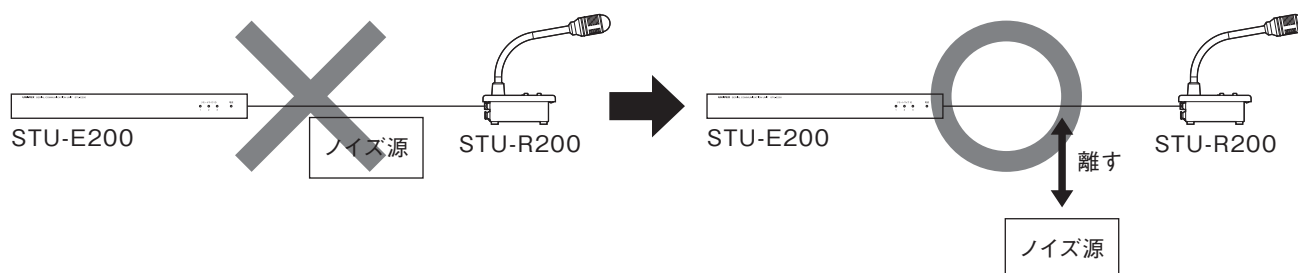
- 調光器系統、AC 電源系統とは、離して配線してください。



◆通信線(LAN ケーブル)のノイズ対策

- 雑音発生の原因になる機器* とは、離して配線してください。

※高周波機器（乾燥機、医療機器など）、電気溶接機、ブラッシングモーター、自動車の通る道、携帯電話機、デジタル機器（コンピューター、電子楽器など）、空気清浄器。



◆電源のとりかた

- 電源は、調光器や蛍光灯などの系統とは、必ず別にしてください。

それでも不十分な場合は本機への AC100V 電源線にノイズフィルターを入れてください。



◆携帯電話・スマートフォンの使用について

- 本機の近傍で携帯電話・スマートフォンを使用しますと、雑音発生の原因となりますので、充分ご注意ください。

点検方法

故障かな?と思ったときは、次の要領で点検してみてください。

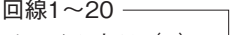
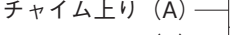
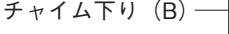


警告

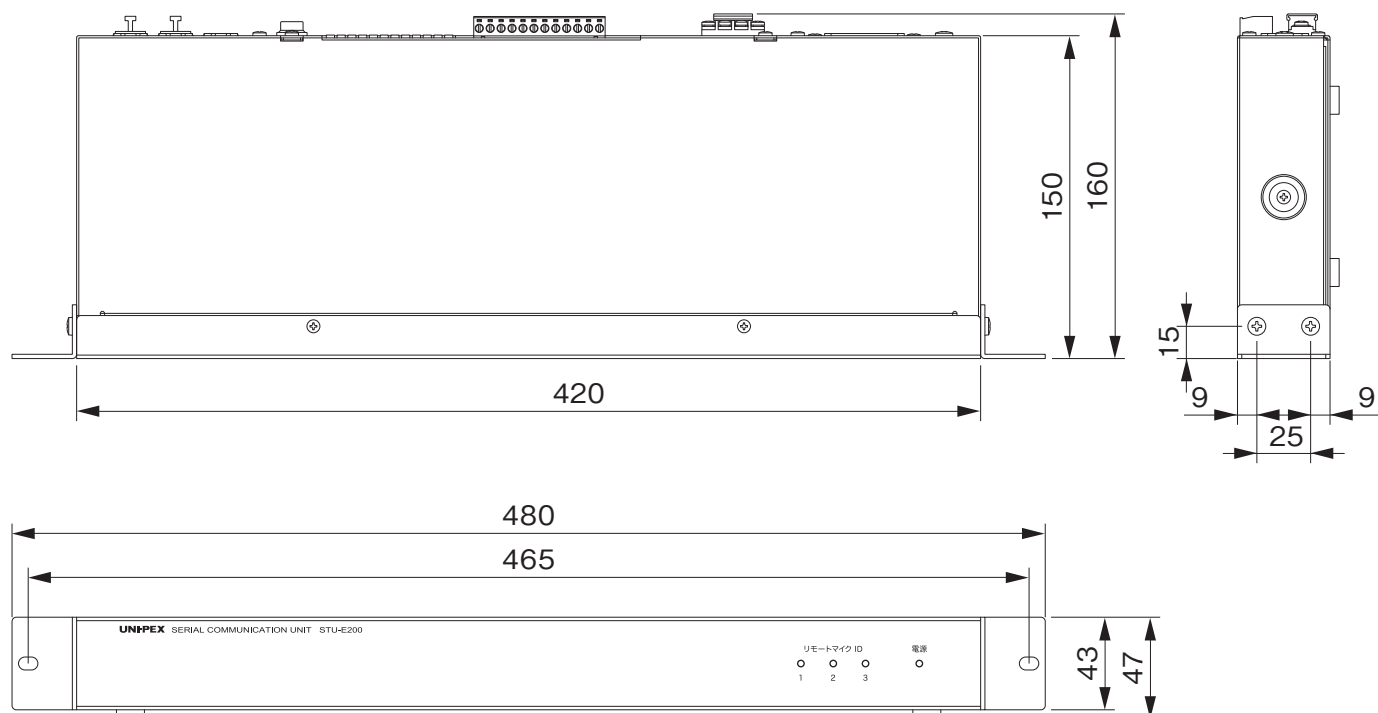
- 次の方法で点検されても正常に動作しないとき、または使用中に急に異常が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙などの異常が無いことを確認し、販売店などへご連絡ください。
- 本機は絶対に分解しないでください。感電の恐れがあります。修理は必ず販売店などにご依頼ください。

症 状	点 検 項 目	対 策
リモートマイク動作表示灯が点滅（赤）している。	本機とリモートマイクは正しく接続されていますか。	正しく接続されていること、断線等が発生していないことを確認してください。
	本機とリモートマイクを接続するケーブルは、適合品ですか。	11頁「適合ケーブルと配線距離」をご覧ください。
	接続距離が、配線可能な最長距離を超えていませんか。	
	本機のリモートマイク台数設定と、接続するリモートマイクの数は一致していますか。	8頁「リモートマイク接続台数の設定」、およびリモートマイクの取扱説明書をご覧ください。
	リモートマイク側のID設定は、本機のリモートマイク台数設定に応じて設定されていますか。	
	リモートマイクを複数台使用している場合は、各機のIDが重複していませんか。	
音が途切れた。	停電が発生しませんでしたか。	停電によりシステムの電源電圧が落ちた場合、音が途切れる場合があります。 なお、停電補償を行っている場合でも、非常電源への切り換わり時に音が途切れる場合があります。
異音が発生する。	リモートマイクに繋がっていないLANケーブルが本機に接続されていませんか。	使用しない通信端子には、LANケーブルを接続しないでください。

定 格

電 源 電 圧	AC 100V 50Hz/60Hz DC 24V (AC優先)
定 格 消 費 電 力	18W
定 格 出 力	0dBV±3dB 600Ω 平衡  設定スイッチにより切替可能 -20dBV±3dB 10kΩ 平衡 
入 力 感 度	通信端子： 0dBV±3dB 600Ω 電子平衡 チャーム： -22dBV±3dB 10kΩ 不平衡
ひ ず み 率	0.5%以下
周 波 数 特 性	50Hz～15kHz (偏差：±3dB)
S / N 比	65dB以上
使 用 温 度 範 囲	-10～60℃
外 部 制 御 出 力	電源起動  無電圧メーク接点 (出力接点容量：1端子あたり DC30V 1A) 汎用制御  無電圧メーク接点 (出力接点容量：2端子で DC30V 1A) 一斉×2  無電圧メーク接点 (出力接点容量：2端子で DC30V 1A) 回線1～20  ー オープンコレクター出力 (出力接点容量：1端子あたり DC40V 50mA) チャーム上り (A)  ー チャーム下り (B)  ー 通常一斉表示 
外 部 起 動 入 力	本体動作表示 (ラック形非常用放送設備) 制御入力-フォトカプラ入力(24V) 本体動作表示 (ラック形業務用放送設備) 制御入力-無電圧メーク接点入力
使用可能LANケーブル	CAT5e以上 ストレートタイプ
外 装	前面パネル (鋼板) : マンセルN4.5 近似色グレー カバー (鋼板) : マンセルN1 近似色ブラック/半艶 本体シャーシ (電気亜鉛メッキ鋼板) : 亜鉛メッキ ラック取付金具 (鋼板) : マンセルN4.5 近似色グレー
寸 法	幅420mm(ラック取付金具含まず) 高さ43mm(ゴム足含まず) 奥行160mm(端子台を含む)
質 量	約2.5kg
付 属 品	取扱説明書 (保証書付) 1、スタートアップガイド 1、ACケーブル (長さ：2m) 1、ゴム足 4、ラック取付金具 2、M4×6ねじ 4、飾りねじ 2、回線制御出力端子 2 (1つは本機に取り付け済み)
適 合 品	リモートマイク形シリアル通信ユニット STU-R200、壁面取付金具 AK-4201、エレクトロチャームユニット EC-44

外觀寸法図 (単位: mm)



サポートのご案内

■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談・ご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。
販売店に修理を依頼する場合は、下記の項目をお確かめください。

①品 名 ②品 番 ③お買い上げ日 ④故障の状況（できるだけ具体的にお願いします）

■ 販売店がご不明な場合は、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

営業所情報はホームページ
もしくはQRコードにアクセス
してください。
<http://www.unipex.co.jp>



■ その他ご不明な点は、お客様ご相談センターへご相談ください。

UNI-PEX 0120-56-5245 （通話料無料）
お客様ご相談センター 受付時間／9:00～17:00（土・日・祝日除く）
PHS・携帯電話からのご利用は、
072-855-3334（通話料がかかります）

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】
お客様ご相談センターにおけるお客様の個人情報は、
ご相談対応、修理およびその確認に使用いたします。
個人情報は適切に管理し、正当な理由がある場合を
除き、第三者に提供または開示いたしません。

シリアル通信ユニット STU-E200 保証書

製造 番号			
保証 期間	お買い上げ日 年 月 日より 電子回路部1ヶ年、ケース(外装部) 6ヶ月		
お 客 様	お名前 見 本 様 ご住所 〒 電話() -		
販 売 店	店名・住所 印 電話() -		

保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
(This warranty is valid only in Japan)

無料修理保証の範囲

- ①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
- ②修理の際は必ず保証書の提示があること。
- ③当保証書の所定項目に必要事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

無料修理保証の免責範囲

- （次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。）
- ①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
 - ②不当な修理改造による故障、損傷。
 - ③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
 - ④お買い上げ後の落下、傷など、お取り扱い上起因するもの。
 - ⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
 - ⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
 - ⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。

製造元 日本電音株式会社

発売元 ユニペックス株式会社